

行政との協働による子育て支援の試み

Attempting to support child-rearing through collaboration with the government

藪田弘美
Yabuta Hiromi

I. 研究の背景と目的

厚生労働省 (2019) の発表によると、児童虐待の相談対応件数は毎年増加しており、令和元年度中に全国 215 か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は 193,730 件 (速報値) で、これまでで最多の件数となっている。厚生労働省は、「虐待に至る前に気になるレベルで適切な支援が必要 (育児の孤立化, 育児不安の防止)」であるとし、虐待の発生予防を課題にあげている。また、虐待者別の内訳から、実母が 59.2% と最も多く、母親への子育て支援が重要であることがうかがえる。その方法として、地域の行政との協働で、妊娠中の母親、その夫を対象に、出産後の生活や育児のことなどの教室を開催することで、妊娠期から育児期を前向きに過ごせるような支援できるのではないかと考える。各自治体で様々な妊婦教室は開催されているが、AI を搭載した赤ちゃんロボットを使用した専門的な育児体験を実施している自治体はほとんど見られない。本研究では、①専門的な育児体験を実施することで虐待のリスクを軽減する。②参加者へアンケートを実施し、育児体験の効果と育児不安の内容を検討する。

II. 研究の方法

(1) 調査対象と期間

津山市に住民登録し且つ母子手帳の交付を受けている、妊婦教室に参加した 25 名の妊婦を対象に、2020 年 10 月～2021 年 2 月まで調査した。

(2) 調査方法

①AI を搭載した赤ちゃんロボット (リアルケアベビー・リアルケアシェイクンベビー) を使った育児体験、SBS 対応体験の妊婦教室を実施。②終了後、参加者に 4 段階のリッカー法、自由記述によるアンケートを実施した。分析方法は、質問項目ごとの回答者数を示した。自由記述は回答数を集計した。なお、質問項目「妊娠中、もっと支援が欲しかった」への回答に対して、各回答とのクロス集計、 χ^2 検定を行い、行政と協働した母親への支援方法を検討した。

1. 調査のタイミング

2020 年 10 月 4 日 12 名実施。2021 年 2 月 7 日 13 名実施。時間は、いずれも 10:00～12:00 の 2 時間。

2. 分析対象者の属性

アンケートに回答した 25 名を分析した。妊娠期間の中央値は 7 ヶ月（レンジは 5 か月～10 ヶ月）、年齢は 20 代 7 名、30 代 17 名、40 代 1 名だった。出産歴は、全員（25 名）が初産だった。家族構成は、核家族が 23 名、2 世代（夫の家族）が 1 名、母子家庭が 1 名だった。参加のきっかけは、ポスター・チラシが 18 名、その他が 6 名、無記入が 1 名だった。なお、その他の自由記述は、「市の HP(1)」、「インターネット HP(1)」、「母子手帳交付時の案内(3)」、無記入(1)だった。分析対象者の属性の詳細を表 1 に示す。

表 1 回答者の属性

質問項目	選択肢	回答者数（人）
妊娠期間	4 か月以下	0
	5 ヶ月	2
	6 ヶ月	5
	7 か月	8
	8 ヶ月	6
	9 ヶ月	2
	10 ヶ月	2
年齢	20 代	7
	30 代	17
	40 代	1
出産歴	初産	25
	第 2 子	0
	第 3 子	0
	その他	0
家族構成	核家族	23
	2 世代（夫の家族）	1
	2 世代（自分の家族）	0
	母子家庭	1
参加のきっかけ	ポスター・チラシ	18
	友人・知人の紹介	0
	その他	6
	無記入	1

3. 倫理的配慮

本研究は実践と実態把握を中心に進めることから、質問紙調査をする前に、調査対象者に全員に対して研究の目的とデータの取り扱いについて、以下5点を口頭で伝えた。①データは統計的に処理され個人が特定されないこと。②研究目的でのみデータを使用すること。③いかなる理由でも本人以外に個人のデータが開示されないこと。④データ提供の可否がいかなることに影響しないこと。⑤いつでも研究参加を拒否できることである。提供を拒否する場合は、質問紙のチェック欄にチェックを入れるよう依頼した。

III. 結果

本研究の質問紙調査から得られた結果は以下の通りである。

(1) リアルケアベビー^(注1)・リアルケアシェイクンベビー^(注2)を使った体験について

表2に、質問項目と回答者数を示す。リアルケアベビーの「体験のコンテンツに満足した」および「子育て方法の理解が深まった」は、25名全員が「ややあてはまる」か「あてはまる」と回答した。「今回の内容を育児に生かすことができる」は、1名が「あまりあてはまらない」と回答していた。リアルケアシェイクンベビーの「体験のコンテンツに満足した」は、1名が「あまりあてはまらない」と回答した。「SBSについて認知していた」は、17名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、8名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。さらに、「虐待防止への理解が深まった」は、23名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、2名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。最後に、「SBS体験は必要だと思う」は、25名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答した。

(2) 妊娠中と子育てについて

表3に、妊娠中と子育てについての質問項目と回答者数を示す。妊娠中について、「妊娠発覚時嬉しかった」と「妊娠中、不安なこと困ったことがあった」と「妊娠中、不安なこと困ったことを相談する相手があった」は、25名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答した。「妊娠中、もっと支援が欲しかった」は、8名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、17名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。子育てについて、「虐待報道に関心がある」は、23名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、2名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。「しつけに体罰は不要だと思う」は、17名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、8名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。「子育てに不安がある」は、22名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、3名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。「子育てに協力者がある」と「子育ての悩みを相談できる人がある」は、25名が「ややあてはまる」あるいは

は「あてはまる」と回答した。最後に、「子育てをサポートしてくれるサービスを知っている」は、22名が「ややあてはまる」あるいは「あてはまる」と回答し、3名が「あてはまらない」あるいは「ややあてはまらない」と回答した。

(3) 自由記述回答

無記入の回答が散見されたため、統計的検定は用いず、回答数の集計をした。

妊娠中の不安・困ったことは何ですか？ 「特になし」1名を含む12名から回答を得た。回答内容をグループに分けると、妊婦自身の体調（つわり、体調不良、体重増加、おなかの痛み、ハリ、便秘、食事の管理、つわり中の家事）、赤ちゃんの体調（健康に生まれるか、順調に育っているか）、子育て（赤ちゃんの扱い方、お風呂やだっこ）、出産方法、場所、インターネットの情報（調べると余計な情報まで出てくるので不安）に分かれた。

妊娠中、どんな支援があればよかったですか？ 4名から回答を得た。回答内容は、経験談（気軽に聞けるところ、先輩くらいの立場の人、経験者の話など、母親学級）と、つわり中の家事であった。なお、続く質問「その理由は？」に回答した者はいなかった。

出産後の子育てにどんな不安がありますか？ 9名から回答を得た。回答内容は、赤ちゃんの泣き声（アパート暮らしなので声が響かないか心配、泣かれると困るかも）、母親の体力面や精神面（体力不足、筋力不足、ヒステリーにならないか不安、メンタルを保てるかどうか）、育児（ちゃんと育てられるか、授乳と寝かしつけ、ケガをさせないか、仕事との両立、家事）、人づきあい（頼る人がいない、人づきあい）、経済面、だった。

どんな子育て支援サービスを知っておられますか？ 4名から回答を得た。回答内容は、各保育所、幼稚園の支援センター、のびのび、すくすく、ベビー用品のレンタル、ファミリーサポート・センター、保健師さんか助産師さんなどの訪問や相談、だった。

どんな子育て支援サービスが必要ですか？ 1名から回答を得た。回答内容は、体調が悪かった時の育児支援、だった。

虐待についての考えを教えてください。 4名から回答を得た。回答内容は、絶対ダメ！、してはいけないことなのは分かるが、線引きが難しいのではないかと、知らず知らずのうちに自分も虐待していないか心配、あつてはならないこと、だった。

(4) クロス集計

質問項目「妊娠中、もっと支援が欲しかった」への回答に対して、「妊娠中について」と「子育てについて（出産後も含めて）」の各回答とのクロス集計表を作成した（表4～12）。なお、統計的検定（ χ^2 検定）を行ったが回答数が少ないこともあり有意な差は見られなかった。

表2 育児体験・SBS体験についての質問項目と回答者数

質問項目	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4
リアルケアベビーを使った育児体験について				
体験のコンテンツに満足した	0	0	7	18
子育て方法の理解が深まった	0	0	9	16
今回の内容を育児に生かすことができる	0	1	8	16
リアルケアシェイクンベビーを使った SBS体験コーナーについて				
体験のコンテンツに満足した	0	1	7	17
SBSについて認知していた	4	4	1	16
虐待防止への理解が深まった	0	2	6	17
SBS体験は必要だと思う	0	0	6	19

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表3 妊娠中と子育てについての質問項目と回答者数

質問項目	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4
妊娠中について				
妊娠発覚時嬉しかった	0	0	4	21
妊娠中、不安なこと困ったことがあった	0	0	13	12
妊娠中、不安なこと困ったことを 相談する相手があった	0	0	6	19
妊娠中、もっと支援が欲しかった	5	12	6	2
子育てについて（出産後も含めて）				
虐待報道に関心がある	0	2	14	9
しつけに体罰は不要だと思う	3	5	9	8
子育てに不安がある	2	1	14	8
子育てに協力者がある	0	0	9	16
子育ての悩みを相談できる人がある	0	0	5	20
子育てをサポートしてくれる サービスを知っている	0	3	14	8

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表4 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「妊娠発覚時嬉しかった」のクロス集計表

変数		Q. 妊娠発覚時嬉しかった				合計	
		選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	選択肢 1	0	0	0	5	5
		選択肢 2	0	0	4	8	12
		選択肢 3	0	0	0	6	6
		選択肢 4	0	0	0	2	2
合計		0	0	4	21	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表5 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「妊娠中、不安なこと困ったことがあった」のクロス集計表

変数		Q. 妊娠中、不安なこと困ったことがあった				合計	
		選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	選択肢 1	0	0	2	3	5
		選択肢 2	0	0	7	5	12
		選択肢 3	0	0	4	2	6
		選択肢 4	0	0	0	2	2
合計		0	0	13	12	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表6 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「妊娠中、不安なこと困ったことを相談する相手があった」のクロス集計表

変数		Q. 妊娠中、不安なこと困ったことを相談する相手があった				合計	
		選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	選択肢 1	0	0	0	5	5
		選択肢 2	0	0	3	9	12
		選択肢 3	0	0	3	3	6
		選択肢 4	0	0	0	2	2
合計		0	0	6	19	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表7 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「虐待報道に関心がある」のクロス集計表

変数			Q. 虐待報道に関心がある				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が	☺ も っ と	選択肢 1	0	0	2	3	5
			選択肢 2	0	2	6	4	12
			選択肢 3	0	0	6	0	6
			選択肢 4	0	0	0	2	2
合計			0	2	14	9	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表8 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「しつけに体罰は不要だと思う」のクロス集計表

変数			Q. しつけに体罰は不要だと思う				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が	☺ も っ と	選択肢 1	2	0	0	3	5
			選択肢 2	1	4	4	3	12
			選択肢 3	0	1	4	1	6
			選択肢 4	0	0	1	1	2
合計			3	5	9	8	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表9 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」×「子育てに不安がある」のクロス集計表

変数			Q. 子育てに不安がある				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が	☺ も っ と	選択肢 1	2	0	1	2	5
			選択肢 2	0	1	9	2	12
			選択肢 3	0	0	3	3	6
			選択肢 4	0	0	1	1	2
合計			2	1	14	8	25	

選択肢；1（あてはまらない）、2（あまりあてはまらない）、3（ややあてはまる）、4（あてはまる）

表 10 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」 × 「子育てに協力者がある」 のクロス集計表

変数			Q. 子育てに協力者がある				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	☺	選択肢 1	0	0	0	5	0
			選択肢 2	0	0	5	7	5
			選択肢 3	0	0	4	2	4
			選択肢 4	0	0	0	2	0
合計			0	0	9	16	9	

選択肢 ; 1 (あてはまらない)、2 (あまりあてはまらない)、3 (ややあてはまる)、4 (あてはまる)

表 11 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」 × 「子育ての悩みを相談できる人がある」 のクロス集計表

変数			Q. 子育ての悩みを相談できる人がある				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	☺	選択肢 1	0	0	0	5	5
			選択肢 2	0	0	2	10	12
			選択肢 3	0	0	3	3	6
			選択肢 4	0	0	0	2	2
合計			0	0	5	20	25	

選択肢 ; 1 (あてはまらない)、2 (あまりあてはまらない)、3 (ややあてはまる)、4 (あてはまる)

表 12 「妊娠中、もっと支援が欲しかった」 × 「子育てをサポートしてくれるサービスを知っている」 のクロス集計表

変数			Q. 子育てをサポートしてくれるサービスを知っている				合計	
			選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4		
欲 し か っ た	支 援 が も っ と	☺	選択肢 1	0	1	1	3	5
			選択肢 2	0	0	10	2	12
			選択肢 3	0	1	3	2	6
			選択肢 4	0	1	0	1	2
合計			0	3	14	8	25	

選択肢 ; 1 (あてはまらない)、2 (あまりあてはまらない)、3 (ややあてはまる)、4 (あてはまる)

IV. 考察

リアルケアベビーおよびリアルケアシェイクンベビーを使った専門的な育児体験の全体的な満足度は、リアルケアベビーの育児体験の方が高かった。しかし、乳幼児揺さぶられ症候群（以下 SBS と示す）を認知していない参加者もいたが、全体として虐待防止への理解が深まり、SBS の体験は必要だと思っていることがわかったので、今後も両方を併用した体験を実施していく必要があると考える。妊娠中と子育てについての結果から、子育てに協力者がいたり、子育てに悩みを相談できる人があったりすることは育児をするうえで有効だと考える。少数ではあるが、しつけに体罰が必要だったり、子育てに不安があったりする妊婦には個別の支援が必要だと考える。本研究のように支援者が妊婦に対して、心身ともに不安定になりやすい妊娠初期から関わることは、妊婦の抱える不安を受けとめながら時間をかけて個別性を把握することができるため、充実した支援ができるのではないかと考える。また、専門的な育児体験は育児のイメージづくりにおいても、胎児への関心を高めていくことができ、育児に向けた母子関係の構築につながっていくのではないかと考える。

V. 総括と今後の課題

本研究では、育児体験の効果と育児不安の内容を検討してきた。専門的な育児体験は、子育て方法を理解、虐待防止への理解を深めることができた。しかし、妊娠中の不安、育児不安との回答はほとんど見られなかった。質問項目「妊娠中、もっと支援が欲しかった」への回答に対して、「妊娠中について」と「子育てについて（出産後も含めて）」の各回答との χ^2 検定をかけたが有意ではなかった。しかしながら、津山市の保健師は、若年妊婦出産の件数が増え、若年出産後の離婚率は 80%、そして、実両親との確執が生じ、且つ友だちと疎遠になってしまい孤立感を持つ母親が少なくないと報告している。その結果、育児の知識不足による不安がマルトリートメントや虐待を誘発しているのではないだろうか。今後も行政と協働し、このような妊婦が参加できるシステムの構築が直近の課題であると考えます。

併せて、富森ら（2011）は、産後 1 カ月の母親の育児困難感の影響要因として、育児経験の少なさが影響している可能性があるとしていると述べている。上述したことから今後も、より具体的な育児のイメージを促すため、リアルケアベビー、リアルケアシェイクンベビーを使用した育児体験を継続的に行うことが重要だと考える。また、育児のイメージと実際の育児とのギャップを想定しながら産後も個別の状況に対応できる継続的な支援を行うことも必要不可欠だと考える。

謝辞

本研究にあたり、妊婦教室に参加、質問紙調査への回答に応じて下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

注

1. リアルケアベビー (図1)

「ミルク・おむつ交換・げっぷ・だっこ」を求めて、実際の乳児と同じようにランダムに泣き出す。体験者はそれぞれ ID を身に着けて世話をする。その ID をリアルケアベビー本体が認識し、世話の内容詳細に記録する。実際の育児と同じように「24 時間の世話」を体験することで、母親など乳児の世話そのものに対する理解を深める。

2. リアルケアシェイクンベビー (図2)

数秒揺さぶられただけ、乳児が脳に受ける深刻なダメージ (Shaken Baby Syndrome: 乳幼児揺さぶられ症候群) を示す乳児シミュレーター。実際の乳児が見せるように激しく泣き、誤った対応すると泣き声をあげなくなる。揺さぶられると頭内部の加速度計が脳にかかった圧力を測定し、ダメージを受けた部位の LED ライトが光る。乳児・子どもの世話をする人や将来親となる人に重要な情報や印象を提供する。



図1 リアルケアベビー



図2 リアルケアシェイクンベビー

【引用・参考文献】

- (1) 厚生労働省 (2012) 児童虐待防止対策

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo>. (2021年2月最終閲覧)

- (2) 厚生労働省 (2019) ,児童相談所での児童虐待相談対応件数

<https://www.mhlw.go.jp/content/000696156.pdf> (2021年2月最終閲覧)

- (3) 厚生労働省 (2019) ,児童虐待に関する法令・指針等一覧

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/hourei.html

(2021年2月最終閲覧)

- (4) 富森美絵子, 矢花英美子, 園田徹. (2011). 産後1カ月の母親の育児困難感の影響要因についての検討. 作業療法, 30(2), 179-189

【引用・参考文献】

リアルケアベビー・リアルケアシェイクンベビーを使った体験の様子

